

# 「北方圏での環境建築デザインと環境技術紹介」 ジョイントセミナー

日時：2013年9月6日（金）9:30～12:00 / 定員 130名（先着順） 札幌市教育文化会館 301 研修室

北方圏とは、一般的には北緯 40 度以北の地域で、北海道・ロシア・カナダ・アラスカ・北欧・グリーンランド・アイスランド等の亜寒帯及び冷温帯の一部を包含しています。この北方圏では気候・風土・文化の類似点が多く、暖房としての化石エネルギー使用量も多いことが特徴的です。地球温暖化防止の為に、都市・建築の性能向上とともに再生可能エネルギーを利用した“環境建築デザイン”が期待されています。日本の北方圏地域である北海道でも、地域ポテンシャルを最大限生かした住まい方が求められます。

主催：(社)日本建築家協会(JIA)環境ラボ+(社)日本太陽エネルギー学会(JSES)北方圏技術部会

問合せ：公益社団法人 日本建築家協会 (JIA 事務局)  
担当：北沢(mail:skitazawa@jia.or.jp)  
150-0001 東京都渋谷区神宮前 2-3-18JIA 館

主旨説明 「北方圏での環境建築デザインと再生可能エネルギー利用」

9:30～9:50



大野二郎

(株)日本設計 環境創造マネジメントセンター(CEDEMa)シニアアドバイザー  
/JIA 環境行動ラボ副委員長 /建築学会サステナブル都市・建築デザイン小委員会主査  
/日本太陽エネルギー学会理事 環境建築デザインを実践

講演 I (JIA)

9:50～10:50

①「森林を背景とした下川町の取り組み」



相馬秀二

(財)下川町ふるさと開発振興公社クラスター推進部部長  
地域資源を活用した産業の創造、地域経済の活性化を目指した取り組みを行っている。

②「自然エネルギー利用とパッシブデザインの実践」



照井康徳

照井康徳建築設計事務所

北海道大学卒業、竹中工務店、アープ建築研究所を経て独立。建築学会作品選賞、JIA 北海道住宅新人賞北海道事務所協会賞受賞

③「亜寒帯のシェルター」



加藤 誠

アトリエブク

北海道大学終了、工学博士、北海道建築奨励賞、建築学会作品選賞受賞  
北海道建築賞受賞 北海道学園大学  
北海道工業大学非常勤講師

講演 II (JSES)

10:55～11:55

④「太陽熱と地中熱を導入した北方圏技術について」



峯 考次

(株)大阪テクノクラート代表取締役  
分散エネルギー供給としての太陽熱利用システムの業界第一人者、特に集合住宅での相互エネルギー有効利用のパイオニア

⑤「北方圏における太陽光発電住宅」



小野寺省吾

オノデン (株) 代表取締役

太陽光発電システム取り組み 20 年、無落雪屋根用太陽光発電架台アートルラスを開発。太陽光発電住宅の普及に勤める

⑥「メガソーラーの状況について」



野村卓司

(株)カネカ生産技術本部上席幹部  
九州工業大学修士終了、電気・化学メーカー等多様な研究に従事、自称「さまよえる技術屋」